

東日本大震災 広島中央保健生協震災支援対策ニュース

NO. 23 2011. 4. 9 8:30 発 広島中央保健生協対策本部

1. 仙台、震度6強の余震、第3陣、無事です

- 第3陣の土佐岡看護師、長谷川保育士、児玉検査科長ともに怪我もなく、無事でした。

7日(木)夜中11時30分過ぎの仙台市内、震度6強の地震直後、支援中の長谷川保育士より、すぐに携帯メールがありました。

第1信「まだ揺れてます＝外に出て避難してます＝外はサイレンで鳴り響いてます」

第2信「怪我はありません＝緊急対策本部が組まれ私たち(土佐岡さんも)は本部で待機です。

病院はトリアージのブースを作り対応に備えています＝まだ余震あり＝」

8日(金)朝の第1信「午前2時まで対策本部で待機でしたが...津波がなかったので患者さんも少なくて解散でした＝先ほども余震あり＝一般道路も陥没してるということです...＝明日は帰れるのでしょうか＝」

第2信「(坂総合病院)停電してますが...本館は自家発電で明るいですが＝もう携帯の電池が風前の灯なので...これからは返事が出来なかったらすみません＝」

- 支援者には、全日本民医連4月3日付け通達「支援者の皆さんへ 110405_145037」を必ず渡し、その中の「援助する人のセルフケア」を読んでもらいましょう。この点について、各事業所の支援を送り出す担当者の皆様(福島生協病院・浴長副事務長、生協さえき病院・藤井事務課長、コープ五日市・大田事務長)よろしくお願いいたします。

2. 全職員を対象に医療支援を募集します！

福島第一原発事故の状況から、これまで当生協からの医療支援の希望者を40歳以上としておりましたが、第4陣からは全職員を対象に募集しています。

- 昨日8日付の朝礼に添付した「災害支援にあたって福島原発による被曝問題をどうみるか」(2011年4月7日付け、副理事長の藤原秀文先生の見解)をご参照のうえ判断下さい。

1)第4陣(4月10日～)で村崎看護師が医療支援へ第5陣(4月17日～)で田代院長、住吉放射線技師、杉本医師(以上、福島生協病院)が医療支援

- 医療支援希望者はのべ35名(4月6日時点)

福島生協病院：医師6名、理学療法士1名、看護師8名、検査技師2名、放射線技師1名

生協さえき病院：医師1名、看護師1名、放射線技師1名、事務1名、歯科事務1名

コープ五日市診療所1名、訪問看護ステーションコープ五日市：看護師2名

生協歯科ひろしま：医師1名、衛生士2名、技工士1名

地域包括支援センター：1名、院内保育園1名、総務部1名、本部：2名1)

- 2)藤原副理事長が4月9日(土)～10日(日)原発被害を受けた患者さんが受診した場合の対応マニュアル作成のため、全日本民医連緊急被曝事故対策本部会議に出席。

3. 既報(再掲)

- 1) さえき地区支援報告会 4月13日(水)昼休み、生協さえき病院2階多目的ホール
福島地区支援報告会 4月14日(木)昼休み、福島生協病院6階会議室
- 2) カンパは、毎週火曜日にまとめて職場から総務部へ
支援物資は毎週水曜日にまとめて職場から総務部。衣類の提供は中止。

以上